# 公共施設等総合管理計画

# 及び個別施設計画

平成３１年１月

（令和７年３月最終改訂）

## 胆振東部消防組合

## はじめに


| | | |
|---|---|---|
| 1 | 計画策定の目的 | 1 |
| 2 | 組合の沿革 | 2 |
| 3 | 計画の位置づけ | 2 |
| 4 | 計画の策定内容 | 3 |
| 5 | 組合組織図 | 4 |


## 第１章　公共施設等の現状及び将来の見通し


| | | |
|---|---|---|
| 1 | 保有する施設について | 5 |
| 2 | 公共施設の現状 | 7 |
| 3 | 公共施設（建築物）の有形固定資産減価償却率等 | 8 |
| 4 | 人口についての今後の見通し | 20 |
| 5 | 当組合の財政状況 | 21 |


## 第２章　公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針


| | | |
|---|---|---|
| 1 | 計画期間 | 23 |
| 2 | 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策 | 23 |
| 3 | 現状や課題に関する基本認識 | 24 |
| 4 | 公共施設等の管理に関する基本的な考え方 | 25 |
| 5 | フォロー体制に関する実施方針 | 28 |


## 第３章　所属ごとの管理に関する基本方針


| | | |
|---|---|---|
| 1 | 所属ごとの方針 | 29 |
| （参考） | 用語説明 | 30 |

# はじめに

## 1　計画策定の目的

我が国においては、高度経済成長期やバブル経済期前後にかけて大きな社会資本投資を行ってきました。これは、町民ニーズや社会状況の変化とともに、様々な公共施設等を整備し、また一方で、平成２４年１２月に起きた笹子トンネル天井板落下事故による、公共施設等の社会資本の老朽化は大きな話題になったところです。

このように、我が国全体の社会資本の老朽化への対応と様々な災害対策に向けた国土強靭化を目指す国の方針は既に進んでいるところですが、これに加え、少子・高齢化の進行などによる人口構造が大きく変化し、人口減少に伴う施設の統廃合や複合化、施設更新コスト圧縮のための長寿命化という大きな社会的な課題が懸念されています。

人口減少に伴う経済縮小や労働力人口の減少、社会基盤整備や社会保障による財政の悪化など、様々な想定を考えつつ、社会資本投資による公共施設等は、老朽化の進行や更新時期の到来、人口減少や少子・高齢化の進行に伴う統廃合や複合化の必要性、大規模災害等への対応などにより、施設等を取り巻く環境は大きく変化しており、これらへの対応が迫られています。

このような状況の中、平成２６年４月、内閣府、総務省が主導となって中央・地方公共団体の全てが「公共施設の今後の在り方」について資産更新問題を見据えた取りまとめを行うというのが「公共施設等総合管理計画」です。これによりすべての地方公共団体ならびに広域事務組合は、公共施設等（建築物）、道路や橋梁などのインフラ系施設など全ての公共施設等を対象として、１０年以上の長期の視点を持ち、財政見通しと施設維持管理費に配慮した公共施設等総合管理計画を策定することを要請されています。

当組合としては、平成３０年９月６日に発生した「北海道胆振東部地震」においても保有する施設に対して甚大な被害を受けました。保有施設の状況確認や今後の更新・改修の見通しなどを考えていかなければなりません。

この「胆振東部消防組合　公共施設等総合管理計画」は、様々な社会情勢を踏まえ、公共施設等の全体像を明らかにし、保有する公共施設を効果的・効率的に活用し、必要な公共サービスを持続的に提供し続けられるよう、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な維持管理を推進することを目的として策定するものです。

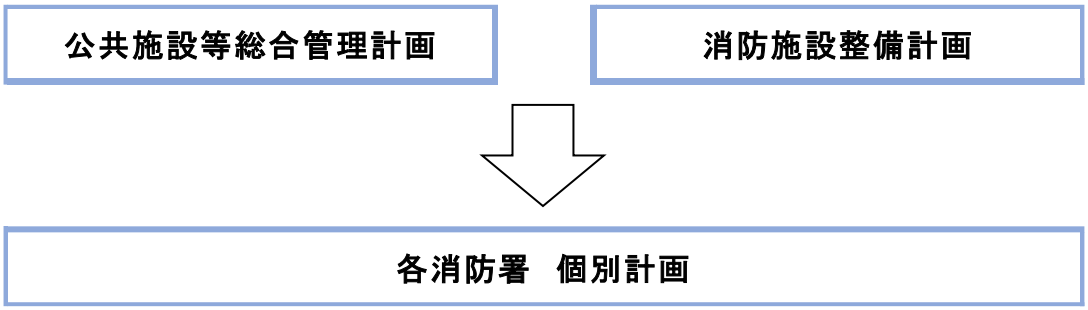
## 2　組合の沿革

北海道の道南に位置し、管内の気候は比較的温暖であるが、冬季間は構成町の地域によっては、降雪量も多く気温もマイナス２０度以下と非常に厳しい地域でもあります。
胆振管内の東部にあり東に競走馬の産地日高、景勝地としても有名な襟裳岬、又西に太平洋岸の港湾都市苫小牧市、支笏洞爺国立公園、北に政令指定都市札幌市及び北海道の空の玄関、新千歳空港があり本部所在地より札幌市まで８０分、千歳空港まで４０分の位置にあります。

管内には、国道２３４号線、２３５号線、２７４号線及び日高自動車道　（厚真ＩＣ・鵡川ＩＣ）が開通し利便性が大幅に向上しております。又、道東自動車道（追分町ＩＣ・むかわ穂別ＩＣ）が開通しており、更には浜厚真地区の苫小牧東港へフェリーが就航されており、交通アクセス等の利便性が良い所です。また管内には、日本最大石油備蓄基地及び北海道電力需要の３分１を供給する電力基地があります。

## 3　計画の位置づけ

本計画については公共施設等総合管理計画及び個別施設計画を兼ね、消防施設整備計画と連動し、計画的な施設整備を実施していきます。



## ４　計画の策定内容

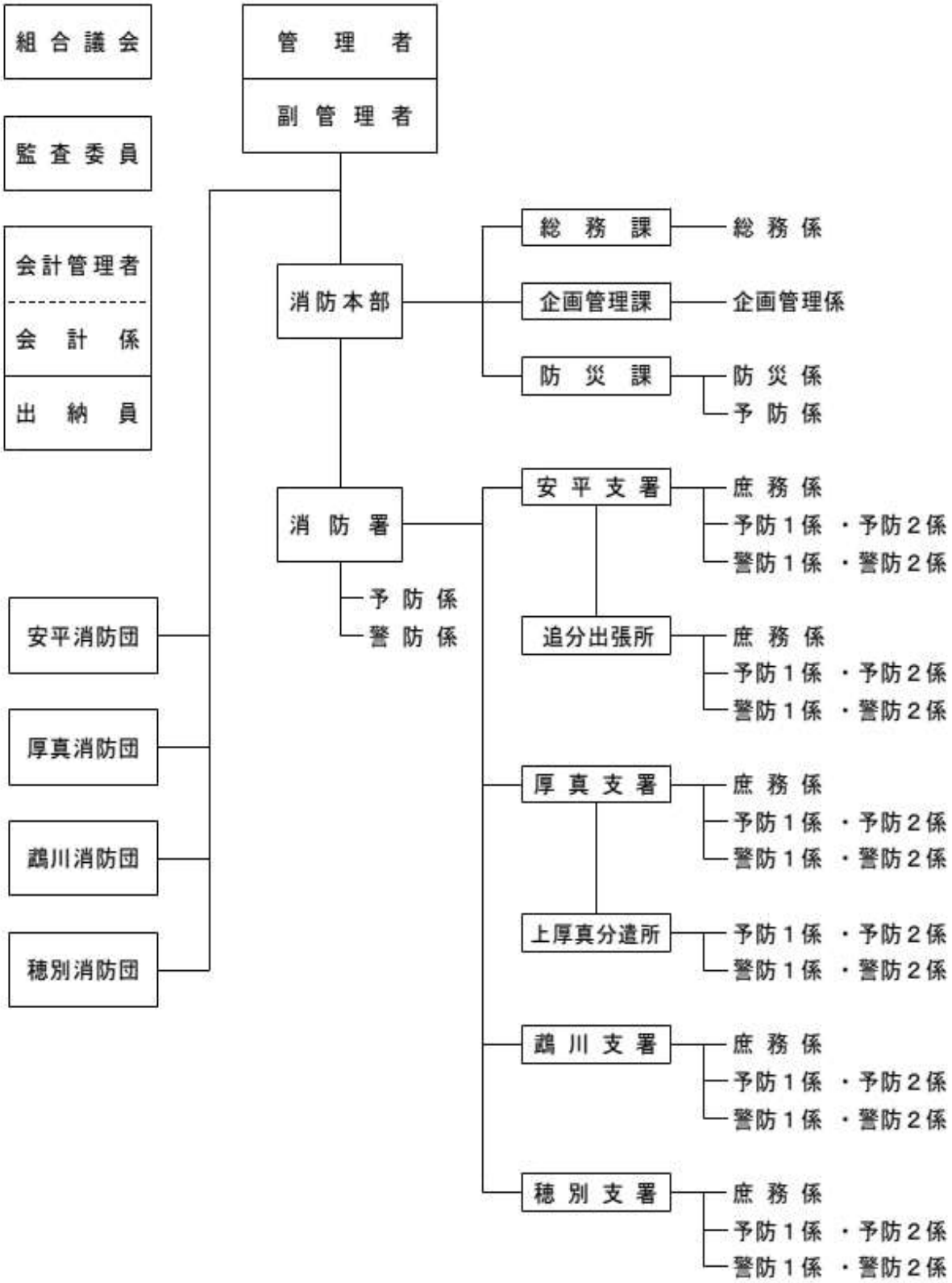
総務省の「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針の改訂について（令和５年１０月１０日総務省）」において、公共施設等総合管理計画の見直しに際し、記載事項の考え方等について示されました。

**■公共施設等総合管理計画の記載事項**

１．　公共施設等の現況及び将来の見通し
　(1) 公共施設等の状況及び過去に行った対策の実績
　(2) 総人口や年代別人口についての今後の見通し
　(3) 公共施設等の現在要している維持管理経費、維持管理・更新等に係る中長期的な経費の見込み及びこれらの経費に充当可能な地方債・基金等の財源の見込み等
２．　公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針
　(1) 計画策定年度、改訂年度及び計画期間
　(2) 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策
　(3) 現状や課題に関する基本認識
　(4) 公共施設等の管理に関する基本的な考え方
　　①点検・診断等の実施方針
　　②維持管理・更新等の実施方針
　　③安全確保の実施方針
　　④耐震化の実施方針
　　⑤長寿命化の実施方針
　　⑥ユニバーサルデザイン化の推進方針
　　⑦脱炭素化の推進方針
　　⑧統合や廃止の推進方針
　　⑨数値目標（努力義務）
　　⑩地方公会計（固定資産台帳等）の活用（努力義務）
　　⑪保有する財産（未利用資産等）の活用や処分に関する基本方針（努力義務）
　　⑫広域連携（努力義務）
　　⑬地方公共団体における各種計画及び国管理施設との連携（努力義務）
　　⑭総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針
　(5) ＰＤＣＡサイクルの推進方針
３．　施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

## 5　組合組織図

当組合の組織図は次のとおりです。



# 第１章　公共施設等の現状及び将来の見通し

## 1　保有する施設について

本計画で示す公共施設等に該当する施設は下記のとおりです。

### ■建物

| No. | 名称 | 所管課 | 所在地 | 取得年度 | 延べ床面積（㎡） | 年間費用（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 3 | 1972 | 109.30 | 7,019 |
| 2 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 3 | 1974 | 104.34 | 6,697 |
| 3 | 消防本部指令車用車庫 | 消防本部 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 3 | 2015 | 18.12 | － |
| 4 | 消防署安平支署庁舎 | 安平支署 | 勇払郡安平町早来大町 141 番地 3 | 2009 | 1,509.42 | 5,666,360 |
| 5 | 救命ボート用倉庫 | 安平支署 | 勇払郡安平町早来大町 141 番地 3 | 2009 | 9.10 | － |
| 6 | 安平消防会館 | 安平支署 | 勇払郡安平町安平 442 番地 2 | 1962 | 265.82 | 3,006,672 |
| 7 | 遠浅消防会館 | 安平支署 | 勇払郡安平町遠浅 84 番地 | 1957 | 170.95 | 341,764 |
| 8 | 追分出張所庁舎 | 安平支署 | 勇払郡安平町追分本町 6 丁目 54 番地 | 1979 | 763.50 | 9,316,618 |
| 9 | 追分出張所　防災資器財庫 | 安平支署 | 勇払郡安平町追分本町 6 丁目 54 番地 | 2020 | 9.98 | － |
| 10 | 物置付きプレハブガレージ | 安平支署 | 勇払郡安平町追分本町 6 丁目 54 番地 | 1999 | 19.48 | － |
| 11 | 厚真消防団合同庁舎 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 2 | 1971 | 999.37 | 4,351,701 |
| 12 | 上厚真分遣所庁舎 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町字上厚真 224 番地の 11 | 1982 | 1,061.75 | 1,923,117 |
| 13 | 職員待機宿舎 A 棟 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 3 | 1972 | 99.17 | 11,506 |
| 14 | 職員待機宿舎 D 棟 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 3 | 1975 | 104.34 | 42,116 |
| 15 | 消防署厚真支署消防車庫 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 3 | 1978 | 25.92 | － |
| 16 | 上厚真分遣所消防車庫 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町字上厚真 244 番地の 11 | 1978 | 14.58 | － |
| 17 | 消防署厚真支署消防車庫 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 3 | 1999 | 44.37 | － |
| 18 | 消防署鵡川支署庁舎 | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町青葉1丁目73 | 2021 | 1,380.00 | 5,176,538 |
| 19 | 鵡川消防団第 1 分団詰所 | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町美幸 2 丁目 76 番地 | 2009 | 324.60 | 389,765 |
| 20 | 鵡川消防団第 2 分団詰所 | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町生田 441 番地 5 | 2008 | 109.30 | 227,219 |
| 21 | 鵡川消防団第 3 分団詰所 | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町宮戸 1088 番地 1 | 2011 | 109.30 | 185,527 |
| 22 | 資機材倉庫 | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町穂別 29 番地 5 | 2021 | 99.60 | － |
| 23 | 消防署穂別支署庁舎 | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別 29 番地 5 | 1979 | 730.00 | 3,659,797 |
| 24 | 穂別消防団第 1 分団詰所 | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別 29 番地 20 | 2010 | 119.25 | 105,174 |
| 25 | 穂別消防団第 2 分団詰所 | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別富内 81 番地 1 | 1995 | 120.11 | 169,914 |
| 26 | 穂別消防団第 3 分団詰所 | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別仁和 344 番地 | 2009 | 109.30 | 241,185 |
| 27 | 穂別消防団第 4 分団詰所 | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別富田 289 番地 5 | 1994 | 117.45 | 1,055,615 |
| 28 | 消防職員待機宿舎（4 戸） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別 29 番地 4 | 1971 | 158.76 | 126,885 |
| 29 | 消防職員待機宿舎（1 戸） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別 29 番地 4 | 1972 | 59.94 | 248,177 |
| 30 | 消防職員待機宿舎（2 戸） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別 31 番地 1 | 1976 | 127.46 | 470,731 |
| 31 | 消防職員待機宿舎（3 戸） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別 29 番地 15 | 1978 | 181.29 | 59,336 |

## ■工作物

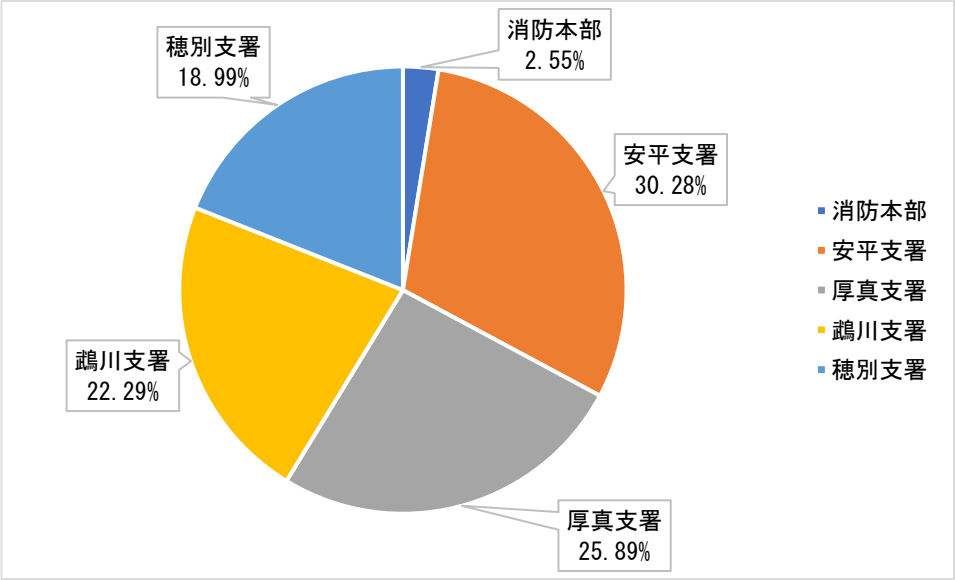
| No. | 名称 | 所管課 | 所在地 | 取得年度 | 保有数 | 年間費用（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 安平サイレン塔・ホース乾燥塔 | 安平支署 | 勇払郡安平町安平 442 番地 2 | 1984 | 1 | 106,395 |
| 2 | 遠浅サイレン塔・ホース乾燥塔 | 安平支署 | 勇払郡安平町遠浅 84 番地 | 1991 | 1 | 106,395 |
| 3 | 東遠浅サイレン塔 | 安平支署 | 勇払郡安平町遠浅 508 番地 2 | 1989 | 1 | 64,662 |
| 4 | 大町サイレン塔 | 安平支署 | 勇払郡安平町早来大町 35 番地 2 | 2019 | 1 | 65,107 |
| 5 | ホース乾燥塔 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町錦町 47 番地の 2 | 1981 | 1 | － |
| 6 | 美里中継所 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町字美里 1 番地の 4 | 2012 | 1 | 462,917 |
| 7 | サイレン塔(上厚真運動公園) | 厚真支署 | 勇払郡厚真町字上厚真 18 番地の 1 | 1988 | 1 | 393,049 |
| 8 | 泡薬剤貯蔵施設 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町字上厚真 244 番地の 11 | 1983 | 1 | － |
| 9 | 泡薬剤貯蔵施設 | 厚真支署 | 勇払郡厚真町字上厚真 244 番地の 11 | 1988 | 1 | － |
| 10 | サイレン塔(汐見) | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町汐見 55 番地の 1 | 1994 | 1 | 198,395 |
| 11 | サイレン付きホース乾燥塔(宮戸) | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町宮戸 1088 番地 1 | 2011 | 1 | 186,650 |
| 12 | サイレン塔（花岡） | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町花岡 669 番地 | 1997 | 1 | 141,309 |
| 13 | サイレン塔（旭岡） | 鵡川支署 | 勇払郡むかわ町旭岡 82 番地 23 | 2022 | 1 | 75,997 |
| 14 | サイレン塔兼ホース干物（仁和） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別仁和 340 番地 3 | 2001 | 1 | 46,332 |
| 15 | サイレン塔兼ホース干物（富内） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別富内 81 番地 | 1995 | 1 | 46,332 |
| 16 | サイレン塔兼ホース干物（豊田） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別豊田 289 番地 | 1994 | 1 | 77,220 |
| 17 | サイレン塔（仁和） | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別仁和 455 番地 1 | 1984 | 1 | － |
| 18 | 仁和中継所 | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別仁和 455 番地 1 | 2012 | 1 | 137,349 |
| 19 | 稲里中継所 | 穂別支署 | 勇払郡むかわ町穂別稲里 410 番地 | 2015 | 1 | 144,823 |

## 2　公共施設の現状

### ■各所属別、延べ床面積

| | 保有数 | 延べ床面積（㎡） | 割合 |
|---|---|---|---|
| 消防本部 | 3 | 231.76 | 2.55% |
| 安平支署 | 7 | 2,748.25 | 30.28% |
| 厚真支署 | 7 | 2,349.50 | 25.89% |
| 鵡川支署 | 5 | 2,022.80 | 22.29% |
| 穂別支署 | 9 | 1,723.56 | 18.99% |
| 計 | 31 | 9,075.87 | 100.00% |

当組合の公共施設（建物）延べ床面積の合計は９，０７５．８７㎡であり、所属別内訳では安平支署が３０．２８％、続いて厚真支署が２５．８９％と続きます。



## ３　公共施設（建築物）の有形固定資産減価償却率等

### （１）有形固定資産減価償却率（老朽化比率）

公共施設等の有形固定資産減価償却率は次の計算式で表しています。

**有形固定資産減価償却率＝減価償却累計額／取得価額（再調達価額）**

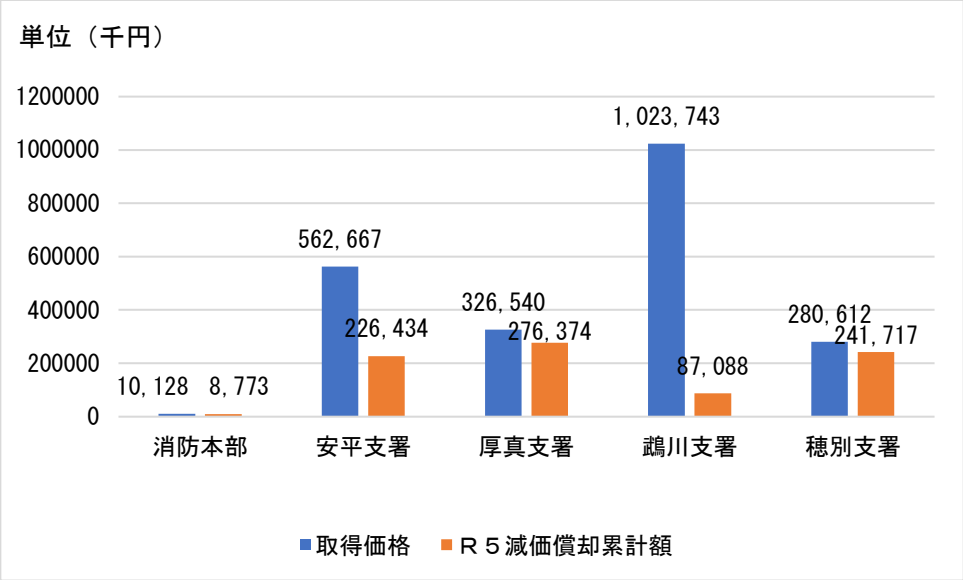
有形固定資産のうち、土地以外の償却資産（建物や工作物等）の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、耐用年数に対して減価償却がどこまで進んでいるか把握することが出来ます。

１００％に近いほど償却が進んでおり、一般的な目安として有形固定資産減価償却率は４５～５０％程度と言われていますが、各所属の有形固定資産減価償却率は以下のとおりであり、今後耐用年数の到達とともに償却率が更に高くなることが予想されます。

当組合としては、保有する建物全体の償却率は平均より低い推移をしているものの、個別にみると各消防署の償却率にバラつきがあります。公共施設の改修・建替え等については第３章に記載します。

■所属別一覧（建物）

| 所属 | 取得価格（千円） | Ｒ５減価償却累計額（千円） | Ｒ５有形固定資産減価償却率 |
|---|---|---|---|
| 消防本部 | 10, 128 | 8, 773 | 86. 6% |
| 安平支署 | 562, 667 | 226, 434 | 40. 2% |
| 厚真支署 | 326, 540 | 276, 374 | 84. 6% |
| 鵡川支署 | 1, 023, 743 | 87, 088 | 8. 5% |
| 穂別支署 | 280, 612 | 241, 717 | 86. 1% |
| 計 | 2, 203, 690 | 840, 386 | 38. 1% |

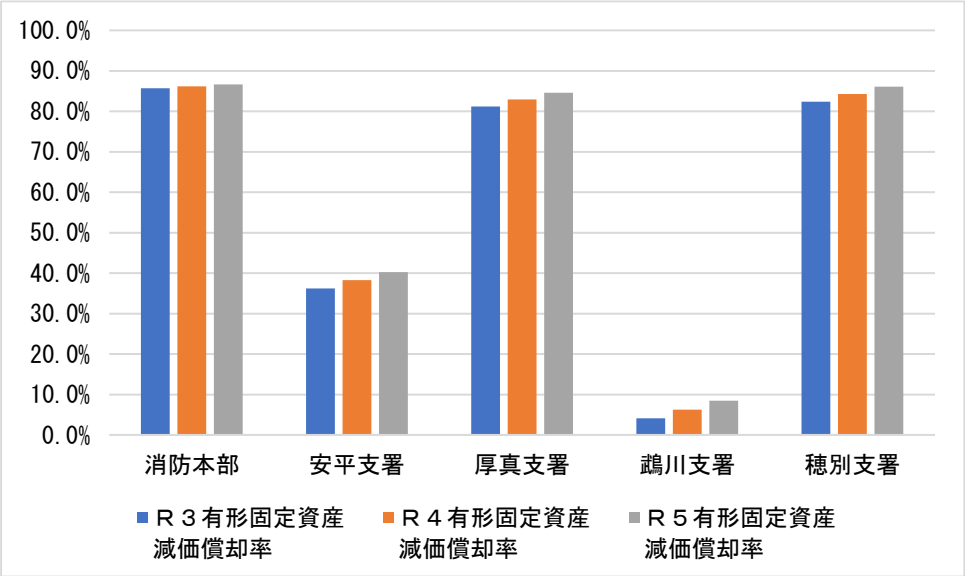



有形固定資産減価償却率について、安平支署、鵡川支署を除き償却率が８５％前後で、全体平均では３８．１％となっています。

■有形固定資産減価償却率の推移（建物）

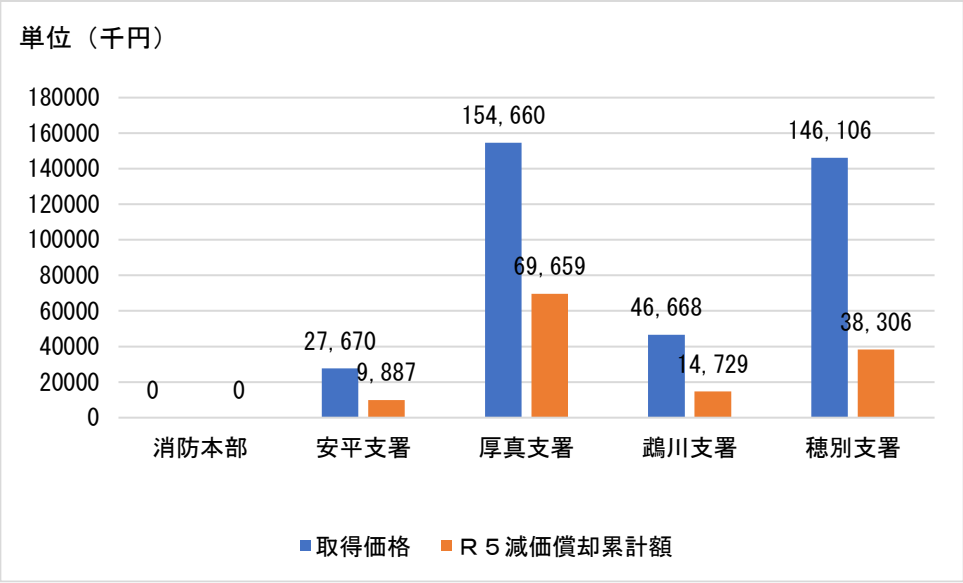
| 所属 | Ｒ３有形固定資産減価償却率 | Ｒ４有形固定資産減価償却率 | Ｒ５有形固定資産減価償却率 |
|---|---|---|---|
| 消防本部 | 85.7% | 86.2% | 86.6% |
| 安平支署 | 36.3% | 38.3% | 40.2% |
| 厚真支署 | 81.2% | 82.9% | 84.6% |
| 鵡川支署 | 4.1% | 6.3% | 8.5% |
| 穂別支署 | 82.4% | 84.3% | 86.1% |
| 計 | 34.1% | 36.1% | 38.1% |

※有形固定資産減価償却率の推移は、現有資産のみを反映し、除却済み資産は含まれていない。



■所属別一覧（工作物）

| 所属 | 取得価格<br>（千円） | 減価償却累計額<br>（千円） | Ｒ５有形固定資産<br>減価償却率 |
|---|---|---|---|
| 消防本部 | － | － | － |
| 安平支署 | 27, 670 | 9, 887 | 35. 7% |
| 厚真支署 | 154, 660 | 69, 659 | 45. 0% |
| 鵡川支署 | 46, 668 | 14, 729 | 31. 6% |
| 穂別支署 | 146, 106 | 38, 306 | 26. 2% |
| 計 | 375, 104 | 132, 581 | 35. 3% |

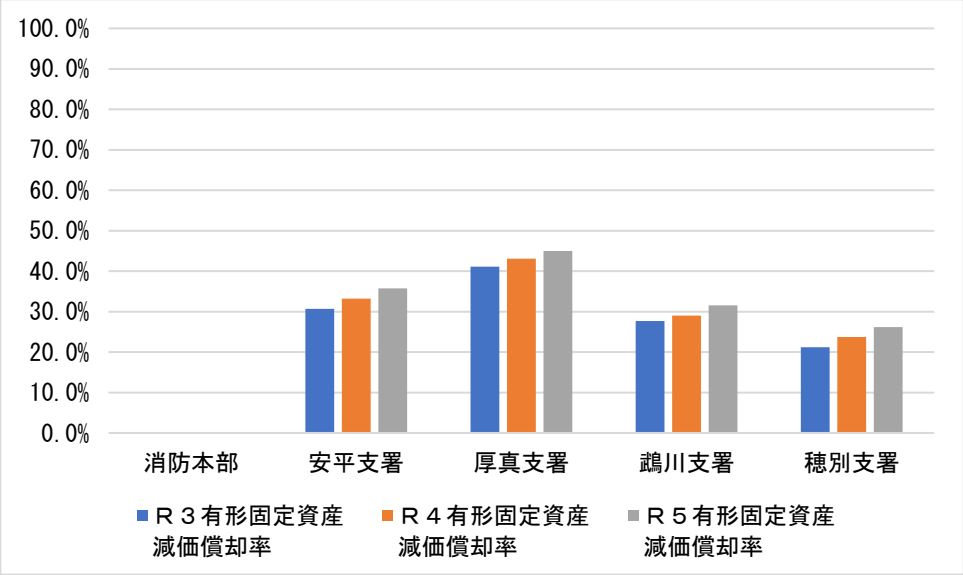



サイレン塔や中継所がメインとなる工作物については、全ての所管で５０％を切っています。

■有形固定資産減価償却率の推移（工作物）

| 所属 | Ｒ３有形固定資産減価償却率 | Ｒ４有形固定資産減価償却率 | Ｒ５有形固定資産減価償却率 |
|---|---|---|---|
| 消防本部 | － | － | － |
| 安平支署 | 30.7% | 33.2% | 35.7% |
| 厚真支署 | 41.1% | 43.1% | 45.0% |
| 鵡川支署 | 27.7% | 29.1% | 31.6% |
| 穂別支署 | 21.2% | 23.7% | 26.2% |
| 計 | 30.9% | 33.1% | 35.3% |

※有形固定資産減価償却率の推移は、現有資産のみを反映し、除却済み資産は含まれていない。



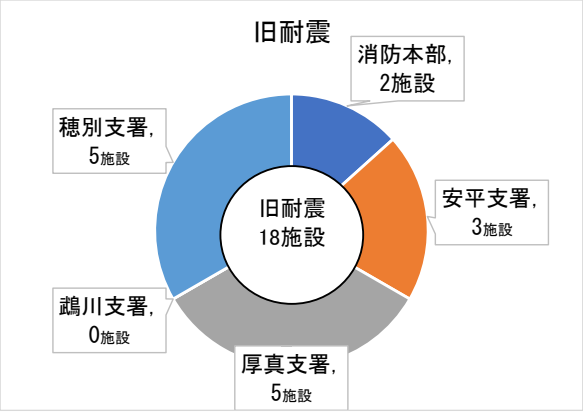
## （２）公共施設（建物）の年度別取得状況

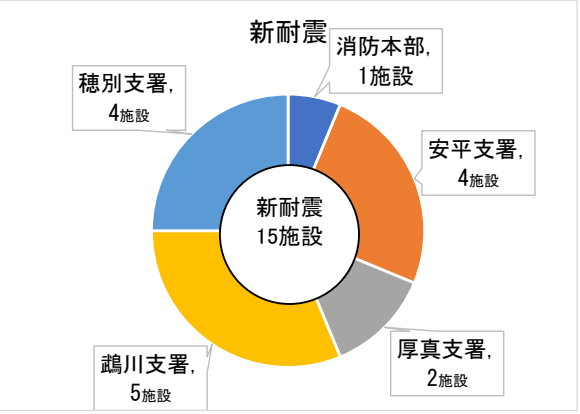
１９８１（昭和５６）年５月３１日以前の建築確認において適用されていた旧耐震基準は、震度５強程度の揺れで建物が倒壊しない設定とされていますが、新耐震基準は震度６強～７程度の揺れでも倒壊しないような構造基準として設定されており、旧耐震基準の公共施設等については、早い段階での方向性の検討が必要となります。

■耐震別公共施設件数

旧耐震基準：１９８１年（昭和５６年）以前に建設された公共施設（建築物）

新耐震基準：１９８２年（昭和５７年）以降に建設された公共施設（建築物）

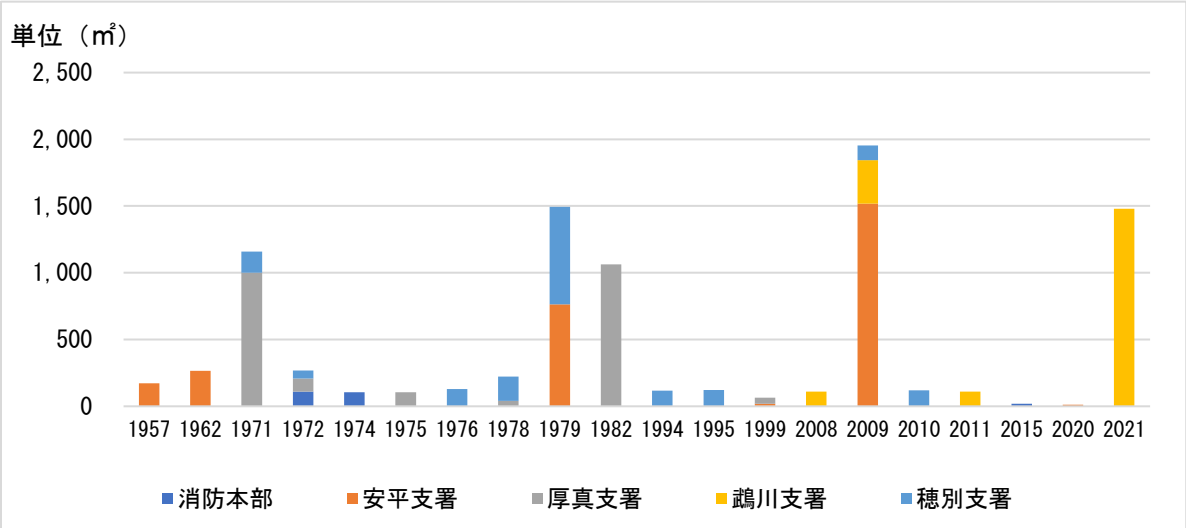



当組合としては、旧耐震基準に該当する公共施設については、その施設の状況を確認しながら、今後の改修や建替え等を検討していきます。

また、新耐震基準に該当する施設については、継続的な維持管理を行っていきます。

■公共施設（建物）の年度別取得状況



## （３）各公共施設（建物）の劣化状況と過去に行った対策の実績

現存する公共施設（建物）の劣化状況は以下のとおりです。躯体、屋根等の劣化基準の判定は下記の基準としています。

A：特に措置を要しない
B：軽微な対応を要するまたは引き続き観察を続ける
C：広範囲に劣化がみられる
D：補修改善を要する

### ■公共施設（建物）の劣化状況

| No. | 資産名称 | 所管名称 | 取得年度 | 耐用年数 | 構造 | 躯体 | 屋根 | 外壁 | 内装 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 1972 | 22 | 木造 | B | B | B | B |
| 2 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 1974 | 22 | 木造 | B | B | B | B |
| 3 | 消防本部指令車用車庫 | 消防本部 | 2015 | 38 | プレハブ | A | A | A | A |
| 4 | 消防署安平支署庁舎 | 安平支署 | 2009 | 50 | RC造 | A | A | A | A |
| 5 | 救命ボート用倉庫 | 安平支署 | 2009 | 31 | 鉄骨造 | A | A | A | A |
| 6 | 安平消防会館 | 安平支署 | 1962 | 17 | 木造モルタル | B | D | A | B |
| 7 | 遠浅消防会館 | 安平支署 | 1957 | 17 | 木造 | B | D | B | B |
| 8 | 追分出張所庁舎 | 安平支署 | 1979 | 50 | RC造 | B | B | B | B |
| 9 | 追分出張所　防災資器財庫 | 安平支署 | 2020 | 17 | 鉄骨造 | A | A | A | A |
| 10 | 物置付きプレハブガレージ | 安平支署 | 1999 | 17 | 軽量鉄骨 | A | A | A | A |
| 11 | 厚真消防団合同庁舎 | 厚真支署 | 1971 | 50 | 鉄筋コンクリート | B | B | B | B |
| 12 | 上厚真分遣所庁舎 | 厚真支署 | 1982 | 50 | 鉄筋コンクリート | B | B | B | B |
| 13 | 職員待機宿舎A棟 | 厚真支署 | 1972 | 22 | 木造 | B | B | B | B |
| 14 | 職員待機宿舎D棟 | 厚真支署 | 1975 | 22 | 木造 | B | B | B | B |
| 15 | 消防署厚真支署消防車庫 | 厚真支署 | 1978 | 17 | 鉄骨プレハブ | B | B | B | B |
| 16 | 上厚真分遣所消防車庫 | 厚真支署 | 1978 | 17 | 鉄骨プレハブ | B | B | B | B |
| 17 | 消防署厚真支署消防車庫 | 厚真支署 | 1999 | 17 | 鉄骨造 | B | B | B | B |
| 18 | 消防署鵡川支署庁舎 | 鵡川支署 | 2021 | 50 | 鉄骨・鉄筋造 | A | A | A | A |
| 19 | 鵡川消防団第1分団詰所 | 鵡川支署 | 2009 | 24 | 木造 | A | A | A | A |
| 20 | 鵡川消防団第2分団詰所 | 鵡川支署 | 2008 | 24 | 木造 | A | A | A | A |
| 21 | 鵡川消防団第3分団詰所 | 鵡川支署 | 2011 | 24 | 木造 | A | A | A | A |
| 22 | 資機材倉庫 | 鵡川支署 | 2021 | 38 | プレハブ | A | A | A | A |
| 23 | 消防署穂別支署庁舎 | 穂別支署 | 1979 | 50 | RC造 | A | D | B | B |
| 24 | 穂別消防団第1分団詰所 | 穂別支署 | 2010 | 24 | 木造 | A | A | A | A |
| 25 | 穂別消防団第2分団詰所 | 穂別支署 | 1995 | 24 | 木造 | A | B | A | A |
| 26 | 穂別消防団第3分団詰所 | 穂別支署 | 2009 | 24 | BC造 | A | A | A | A |
| 27 | 穂別消防団第4分団詰所 | 穂別支署 | 1994 | 24 | 木造 | A | A | A | A |
| 28 | 消防職員待機宿舎（4戸） | 穂別支署 | 1971 | 38 | 耐火造 | A | B | B | A |
| 29 | 消防職員待機宿舎（1戸） | 穂別支署 | 1972 | 38 | ブロック造 | A | B | B | B |
| 30 | 消防職員待機宿舎（2戸） | 穂別支署 | 1976 | 22 | 木造 | A | B | B | B |
| 31 | 消防職員待機宿舎（3戸） | 穂別支署 | 1978 | 22 | 準耐火造 | A | B | B | B |

## ■公共施設（建物）の過去に行った主な対策

| No. | 名称 | 所管課 | 工事年度 | 工事内容 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 2000 | ・外壁改修工事 |
| | | | 2004 | ・水洗化・上下水道接続工事 |
| 2 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 1999 | ・外壁改修工事 |
| | | | 2004 | ・水洗化・上下水道接続工事 |
| 4 | 消防署安平支署庁舎 | 安平支署 | 2018 | ・車庫前塗装補修（地震復旧） |
| | | | 2018 | ・庁舎外壁・床クラック補修（地震復旧） |
| | | | 2022 | ・空調設備圧縮機交換修繕 |
| 6 | 安平消防会館 | 安平支署 | 1980 | ・車庫改修工事 |
| | | | 2018 | ・地震に伴う復旧工事 |
| 7 | 遠浅消防会館 | 安平支署 | 1978 | ・車庫改修工事 |
| | | | 1990 | ・会館増築 |
| 8 | 追分出張所庁舎 | 安平支署 | 1997 | ・外壁塗装工事（南面） |
| | | | 1998 | ・外壁塗装工事（東面） |
| | | | 1999 | ・屋上防水工事（東側） |
| | | | 2000 | ・屋上防水工事（車庫東側） |
| | | | 2001 | ・屋上防水工事（車庫東側） |
| | | | 2006 | ・非常階段改修工事 |
| | | | 2019 | ・耐震改修工事実施設計委託 |
| | | | 2020 | ・耐震改修工事 |
| | | | 2021 | ・煙突改修工事 |
| | | | 2021 | ・扉改修工事 |
| 11 | 厚真消防団合同庁舎 | 厚真支署 | 1991 | ・外壁塗装工事 |
| | | | 1992 | ・庁舎増築工事（食堂・仮眠室） |
| | | | 1999 | ・厚真消防団第1分団詰所増築 |
| | | | 2002 | ・厚真支所庁舎煙突改修工事 |
| | | | 2008 | ・消防本部・支所合同庁舎防水工事 |
| | | | 2012 | ・消防本部・支所合同庁耐震水工事 |
| | | | 2019 | ・消防庁舎災害復旧工事 |
| | | | 2019 | ・厚真支署消防庁舎災害復旧工事 |
| 12 | 上厚真分遣所庁舎 | 厚真支署 | 2000 | ・分遣所庁舎外壁工事（西側） |
| | | | 2001 | ・分遣所庁舎外壁工事（北側・乾燥棟） |
| | | | 2003 | ・分遣所庁舎外壁工事（東側・南側） |
| | | | 2005 | ・分遣所庁舎工事（アスファルト防水） |
| | | | 2006 | ・分遣所庁舎外壁工事（ロックウール除去） |
| | | | 2007 | ・分遣所庁舎外壁工事（屋上防水） |
| | | | 2017 | ・分遣所庁舎外壁工事（東側） |
| | | | 2017 | ・分遣所車庫暖房改修工事 |
| | | | 2023 | ・給排水管、流し台更新及び女子トイレ増設工事 |
| 13 | 職員待機宿舎 A 棟 | 厚真支署 | 1996 | ・外壁改修工事 |
| 14 | 職員待機宿舎 D 棟 | 厚真支署 | 1998 | ・外壁改修工事 |
| 20 | 鵡川消防団第 2 分団詰所 | 鵡川支署 | 2023 | ・塗装修繕 |
| 23 | 消防署穂別支署庁舎 | 穂別支署 | 2018 | ・屋上防水改修工事 |
| 27 | 穂別消防団第 4 分団詰所 | 穂別支署 | 2017 | ・屋根・外壁塗装工事 |

## （４）更新年度と単純更新費用額

現存する公共施設（建物）を取得価額（再調達価額）で更新した場合、耐用年数を迎えた施設の更新必要額の総額が約１２．９億円となります。

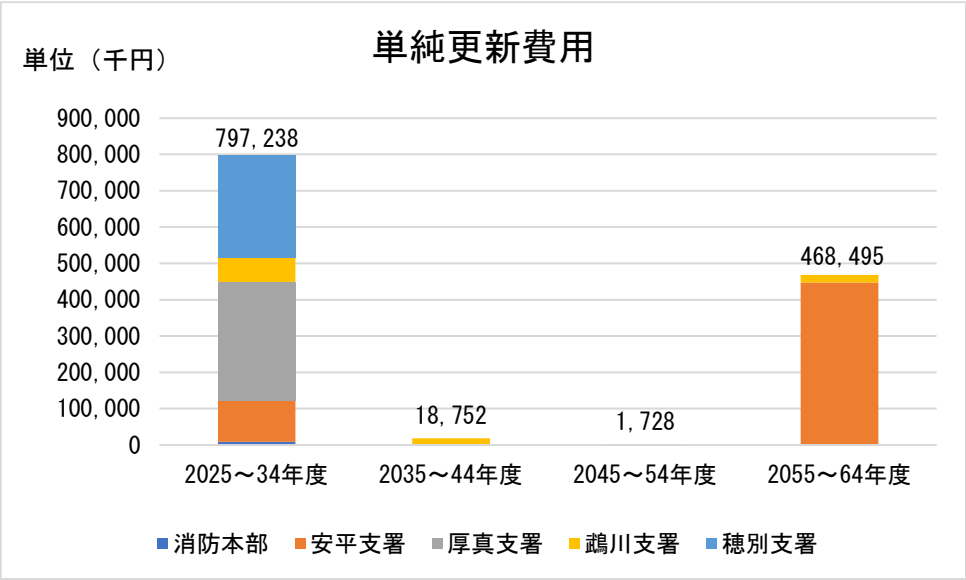
１０年ごとの期間でみると、２０２５年度から２０３４年度までの期間で、その費用は約８．０億円となり、２０３５年度から２０４４年度までに約０．２億円、２０５５年度から２０６４年度までに約４．７億円と、改修・更新等による財政への負担が懸念されます。

### ■公共施設（建物）の更新費用等一覧

| No. | 資産名称 | 所管名称 | 取得年度 | 耐用年数 | 経過年数 | 再調達価額（千円） | 大規模改修費用（千円） | 単純更新年度 | 方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 1972 | 22 | 51 | 3,100 | 1,860 | 1994 | 除却 |
| 2 | 消防本部職員待機宿舎 | 消防本部 | 1974 | 22 | 49 | 5,300 | 3,180 | 1996 | 除却 |
| 3 | 消防本部指令車用車庫 | 消防本部 | 2015 | 38 | 8 | 1,728 | 1,037 | 2053 | 除却 |
| 4 | 消防署安平支署庁舎 | 安平支署 | 2009 | 50 | 14 | 447,342 | 268,405 | 2059 | 現状維持 |
| 5 | 救命ボート用倉庫 | 安平支署 | 2009 | 31 | 14 | 670 | 402 | 2040 | 現状維持 |
| 6 | 安平消防会館 | 安平支署 | 1962 | 17 | 61 | 3,200 | 1,920 | 1979 | 長寿命化 |
| 7 | 遠浅消防会館 | 安平支署 | 1957 | 17 | 66 | 1,200 | 720 | 1974 | 長寿命化 |
| 8 | 追分出張所庁舎 | 安平支署 | 1979 | 50 | 44 | 108,400 | 65,040 | 2029 | 現状維持 |
| 9 | 追分出張所　防災資器財庫 | 安平支署 | 2020 | 17 | 3 | 946 | 568 | 2037 | 現状維持 |
| 10 | 物置付きプレハブガレージ | 安平支署 | 1999 | 17 | 24 | 909 | 546 | 2016 | 現状維持 |
| 11 | 厚真消防団合同庁舎 | 厚真支署 | 1971 | 50 | 52 | 26,420 | 15,852 | 2021 | 除却 |
| 12 | 上厚真分遣所庁舎 | 厚真支署 | 1982 | 50 | 41 | 278,700 | 167,220 | 2032 | 現状維持 |
| 13 | 職員待機宿舎A棟 | 厚真支署 | 1972 | 22 | 51 | 3,465 | 2,079 | 1994 | 除却 |
| 14 | 職員待機宿舎D棟 | 厚真支署 | 1975 | 22 | 48 | 3,640 | 2,184 | 1997 | 除却 |
| 15 | 消防署厚真支署消防車庫 | 厚真支署 | 1978 | 17 | 45 | 620 | 372 | 1995 | 除却 |
| 16 | 上厚真分遣所消防車庫 | 厚真支署 | 1978 | 17 | 45 | 300 | 180 | 1995 | 現状維持 |
| 17 | 消防署厚真支署消防車庫 | 厚真支署 | 1999 | 17 | 24 | 13,395 | 8,037 | 2016 | 除却 |
| 18 | 消防署鵡川支署庁舎 | 鵡川支署 | 2021 | 50 | 2 | 917,477 | 550,486 | 2071 | 現状維持 |
| 19 | 鵡川消防団第1分団詰所 | 鵡川支署 | 2009 | 24 | 14 | 52,752 | 31,651 | 2033 | 現状維持 |
| 20 | 鵡川消防団第2分団詰所 | 鵡川支署 | 2008 | 24 | 15 | 15,225 | 9,135 | 2032 | 現状維持 |
| 21 | 鵡川消防団第3分団詰所 | 鵡川支署 | 2011 | 24 | 12 | 17,136 | 10,282 | 2035 | 現状維持 |
| 22 | 資機材倉庫 | 鵡川支署 | 2021 | 38 | 2 | 21,153 | 12,692 | 2059 | 現状維持 |
| 23 | 消防署穂別支署庁舎 | 穂別支署 | 1979 | 50 | 44 | 174,400 | 104,640 | 2029 | 現状維持 |
| 24 | 穂別消防団第1分団詰所 | 穂別支署 | 2010 | 24 | 13 | 20,328 | 12,197 | 2034 | 現状維持 |
| 25 | 穂別消防団第2分団詰所 | 穂別支署 | 1995 | 24 | 28 | 17,320 | 10,392 | 2019 | 現状維持 |
| 26 | 穂別消防団第3分団詰所 | 穂別支署 | 2009 | 24 | 14 | 21,210 | 12,726 | 2033 | 現状維持 |
| 27 | 穂別消防団第4分団詰所 | 穂別支署 | 1994 | 24 | 29 | 15,545 | 9,327 | 2018 | 現状維持 |
| 28 | 消防職員待機宿舎（4戸） | 穂別支署 | 1971 | 38 | 52 | 4,600 | 2,760 | 2009 | 現状維持 |
| 29 | 消防職員待機宿舎（1戸） | 穂別支署 | 1972 | 38 | 51 | 2,096 | 1,258 | 2010 | 現状維持 |
| 30 | 消防職員待機宿舎（2戸） | 穂別支署 | 1976 | 22 | 47 | 8,663 | 5,198 | 1998 | 現状維持 |
| 31 | 消防職員待機宿舎（3戸） | 穂別支署 | 1978 | 22 | 45 | 16,450 | 9,870 | 2000 | 現状維持 |

※大規模改修費は、再調達価額の６０％で計算。

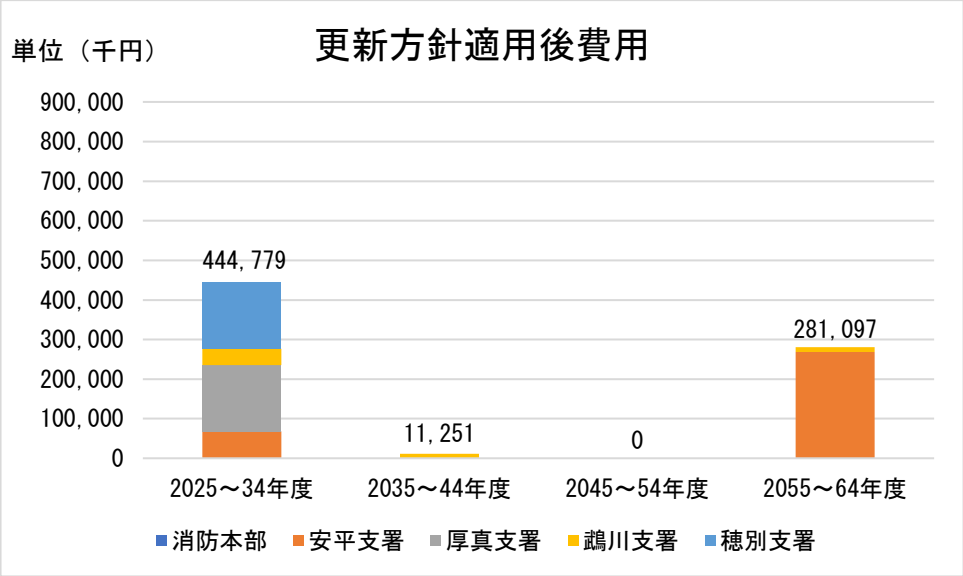
## ■公共施設（建物）の単純更新費用




【単純更新費用】 （単位：千円）

| | 2025～34年度 | 2035～44年度 | 2045～54年度 | 2055～64年度 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 消防本部 | 8,400 | 0 | 1,728 | 0 | 10,128 |
| 安平支署 | 113,709 | 1,616 | 0 | 447,342 | 562,667 |
| 厚真支署 | 326,540 | 0 | 0 | 0 | 326,540 |
| 鵡川支署 | 67,977 | 17,136 | 0 | 21,153 | 106,266 |
| 穂別支署 | 280,612 | 0 | 0 | 0 | 280,612 |
| 合計 | 797,238 | 18,752 | 1,728 | 468,495 | 1,286,212 |

## ■公共施設（建物）の更新方針適用後費用




【更新方針適用後の費用】 （単位：千円）

| | 2025～34年度 | 2035～44年度 | 2045～54年度 | 2055～64年度 | 合計 | 削減額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防本部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | **-10,128** |
| 安平支署 | 68,226 | 969 | 0 | 268,405 | 337,600 | **-225,067** |
| 厚真支署 | 167,400 | 0 | 0 | 0 | 167,400 | **-159,140** |
| 鵡川支署 | 40,786 | 10,282 | 0 | 12,692 | 63,760 | **-42,506** |
| 穂別支署 | 168,367 | 0 | 0 | 0 | 168,367 | **-112,245** |
| 合計 | 444,779 | 11,251 | 0 | 281,097 | 737,127 | **-549,086** |

※方向性が、「現状維持」「長寿命化」は大規模改修単価を採用し、耐用年数経過後に計上。
※方向性を「除却」としている施設は０円で計算。
※期間中の２回目の更新は考慮していない。

施設の更新方針を適用した場合、施設更新等の必要額の総額が約７．４億円となり、約５．５億円削減することができます。

１０年ごとの期間でみると、２０２５年度から２０３４年度までの期間で、その費用は約４．４億円となり、２０３５年度から２０４４年度までに約０．１億円、２０５５年度から２０６４年度までに約２．８億円かかる試算となります。

上記の試算は、あくまで一定の基準の基で試算したものであり、実際に必要となる費用とは合致しませんが、一つの目安となります。

また、２０２５年度以降の施設整備計画については第３章に記載しています。

## （５）工作物の現状と方向性

工作物については、以下のとおり、現状維持が基本となりますが、厚真支署の「ホース乾燥塔」については除却を予定しています。

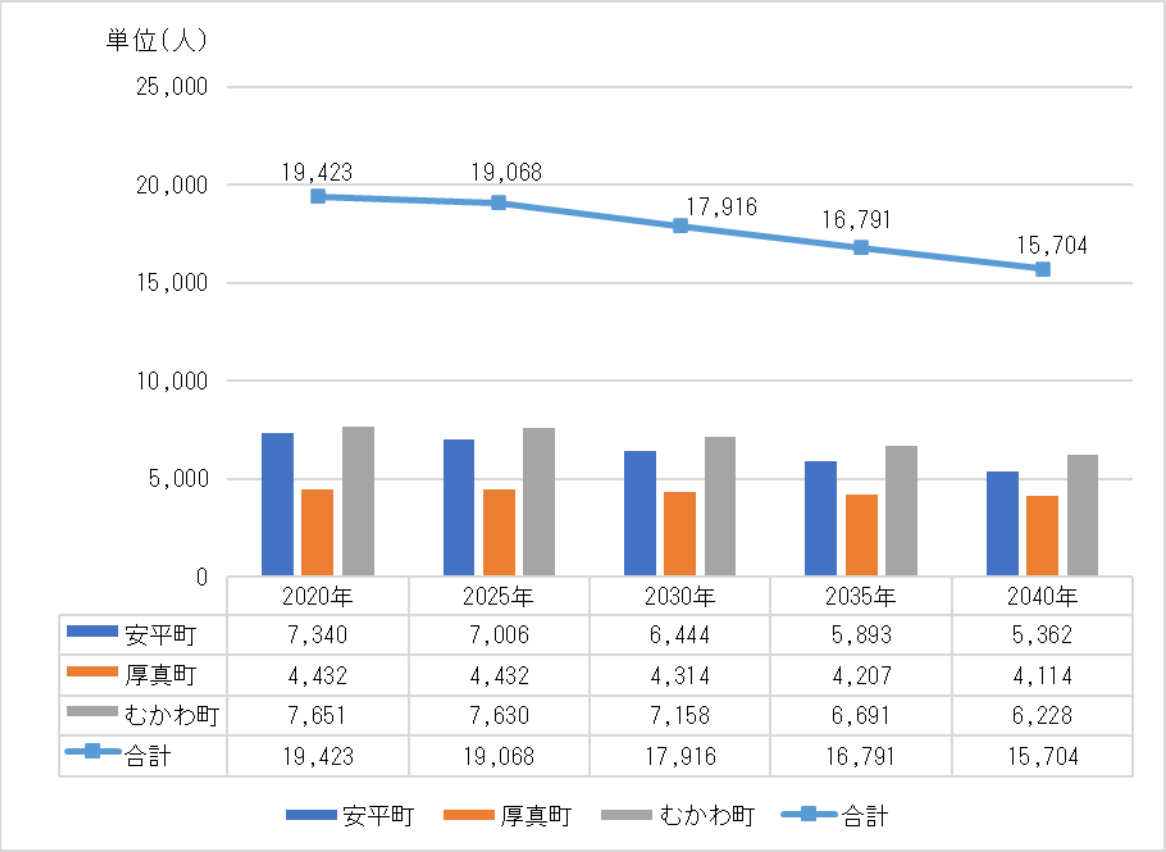
### ■工作物の現状と方向性

| No. | 資産名称 | 所管名称 | 取得年度 | 耐用年数 | 経過年数 | 帳簿原価（千円） | 躯体 | 方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 安平サイレン塔・ホース乾燥塔 | 安平支署 | 1984 | 40 | 39 | 3,370 | A | 現状維持 |
| 2 | 遠浅サイレン塔・ホース乾燥塔 | 安平支署 | 1991 | 40 | 32 | 3,863 | A | 現状維持 |
| 3 | 東遠浅サイレン塔 | 安平支署 | 1989 | 40 | 34 | 1,957 | A | 現状維持 |
| 4 | 大町サイレン塔 | 安平支署 | 2019 | 40 | 4 | 18,480 | A | 現状維持 |
| 5 | ホース乾燥塔 | 厚真支署 | 1981 | 40 | 42 | 2,570 | B | 除却 |
| 6 | 美里中継所 | 厚真支署 | 2012 | 40 | 11 | 116,296 | B | 現状維持 |
| 7 | サイレン塔(上厚真運動公園) | 厚真支署 | 1988 | 40 | 35 | 5,494 | B | 現状維持 |
| 8 | 泡薬剤貯蔵施設 | 厚真支署 | 1983 | 15 | 40 | 14,900 | B | 現状維持 |
| 9 | 泡薬剤貯蔵施設 | 厚真支署 | 1988 | 15 | 35 | 15,400 | B | 現状維持 |
| 10 | サイレン塔(汐見) | 鵡川支署 | 1994 | 40 | 29 | 8,539 | A | 現状維持 |
| 11 | サイレン付きホース乾燥塔(宮戸) | 鵡川支署 | 2011 | 40 | 12 | 9,685 | A | 現状維持 |
| 12 | サイレン塔(花岡) | 鵡川支署 | 1997 | 40 | 26 | 7,874 | A | 現状維持 |
| 13 | サイレン塔(旭岡) | 鵡川支署 | 2022 | 40 | 1 | 20,570 | A | 現状維持 |
| 14 | サイレン塔兼ホース干物(仁和) | 穂別支署 | 2001 | 40 | 22 | 2,940 | A | 現状維持 |
| 15 | サイレン塔兼ホース干物(富内) | 穂別支署 | 1995 | 40 | 28 | 2,598 | A | 現状維持 |
| 16 | サイレン塔兼ホース干物(豊田) | 穂別支署 | 1994 | 40 | 29 | 2,332 | A | 現状維持 |
| 17 | サイレン塔(仁和) | 穂別支署 | 1984 | 40 | 39 | 400 | A | 現状維持 |
| 18 | 仁和中継所 | 穂別支署 | 2012 | 40 | 11 | 69,631 | A | 現状維持 |
| 19 | 稲里中継所 | 穂別支署 | 2015 | 40 | 8 | 68,205 | A | 現状維持 |

## ４　人口についての今後の見通し

各市町村の人口推移をみると、２０４０年には安平町で５，３６２人（２０２０年の７３．１%)、厚真町で４，１１４人（２０２０年の９２．８%)、むかわ町で６，２２８人（２０２０年の８１．４%）と、どの自治体も約１０～３０%近く減少する見通しとなっています。

### ◆各市町村の人口推移



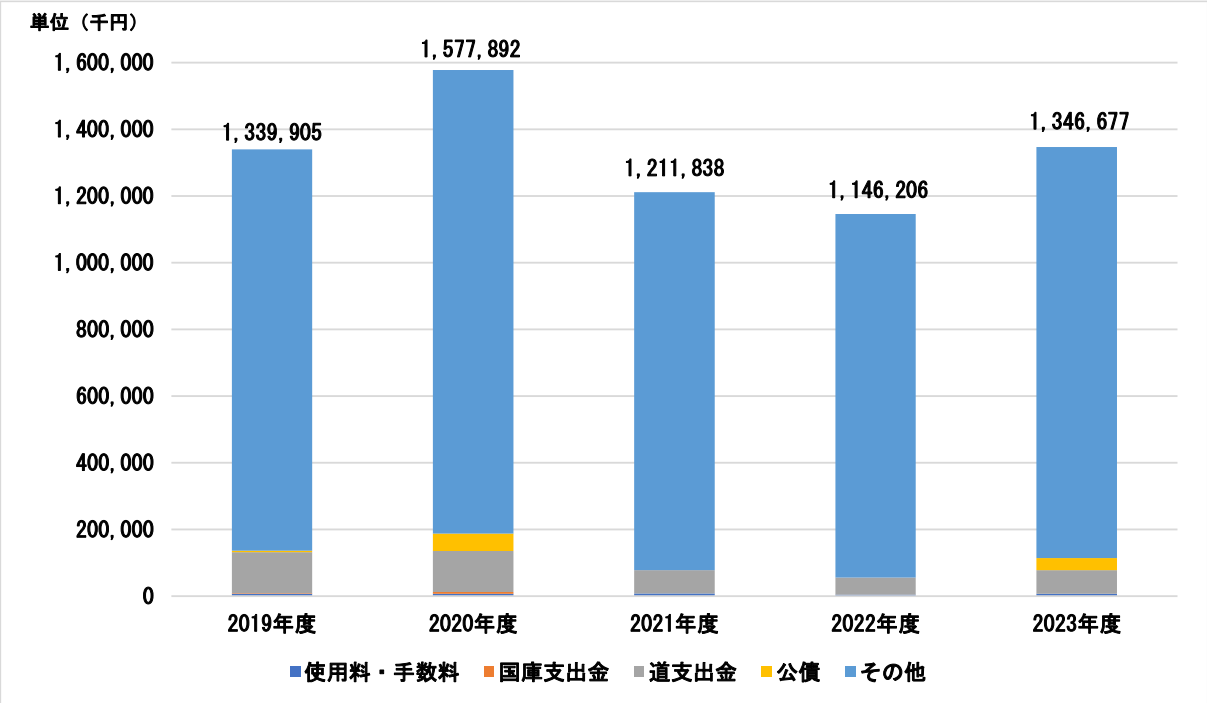

（出典）２０２０年は各町の国勢調査、２０２５年以降は各町の「まちひとしごと創生総合戦略」による人口ビジョンの目標値を採用。

## 5　当組合の財政状況

当組合の直近５年間の財政状況は、以下のとおりとなります。

**■歳入の推移**　（単位:千円）

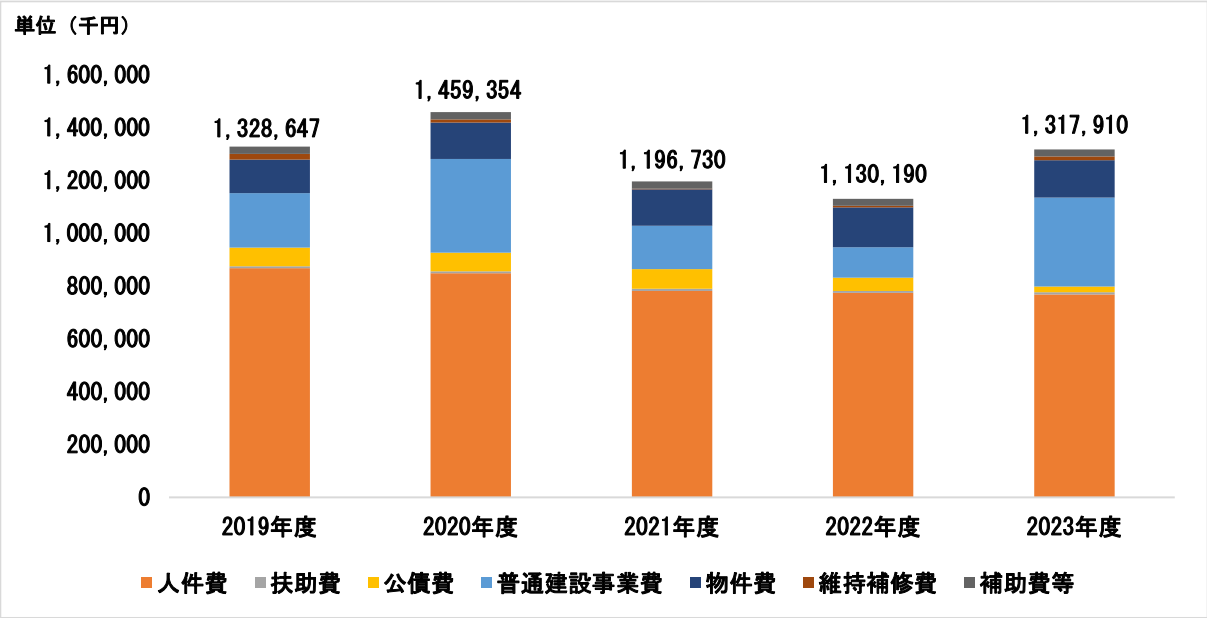
| | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用料・手数料 | 6, 734 | 7, 391 | 7, 793 | 4, 338 | 6, 739 |
| 国庫支出金 | 2, 493 | 5, 461 | 0 | 0 | 0 |
| 道支出金 | 122, 976 | 122, 445 | 70, 464 | 51, 589 | 71, 476 |
| 公債 | 3, 900 | 52, 600 | 0 | 0 | 35, 700 |
| その他 | 1, 203, 802 | 1, 389, 996 | 1, 133, 581 | 1, 090, 279 | 1, 232, 762 |
| 歳入合計 | 1, 339, 905 | 1, 577, 892 | 1, 211, 838 | 1, 146, 206 | 1, 346, 677 |




※参照　２０１９～２０２３年度　決算書より抜粋

■歳出の推移　　（単位：千円）

| | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 義務的経費 | 946, 486 | 927, 258 | 864, 223 | 831, 621 | 798, 732 |
| 人件費 | 867, 869 | 848, 796 | 781, 925 | 774, 352 | 769, 003 |
| 扶助費 | 7, 745 | 7, 655 | 7, 555 | 7, 620 | 7, 795 |
| 公債費 | 70, 872 | 70, 807 | 74, 743 | 49, 649 | 21, 934 |
| 普通建設事業費 | 206, 068 | 354, 323 | 164, 299 | 115, 887 | 336, 353 |
| その他の経費 | 176, 094 | 177, 772 | 168, 208 | 182, 682 | 182, 824 |
| 物件費 | 126, 586 | 137, 442 | 137, 732 | 150, 498 | 141, 697 |
| 維持補修費 | 21, 370 | 12, 105 | 2, 873 | 5, 790 | 14, 365 |
| 補助費等 | 28, 137 | 28, 225 | 27, 603 | 26, 394 | 26, 763 |
| 歳出合計 | 1, 328, 647 | 1, 459, 354 | 1, 196, 730 | 1, 130, 190 | 1, 317, 910 |




※参照　２０１９～２０２３年度　決算統計（性質別）より抜粋

# 第２章　公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

## １　計画期間

当組合の公共施設等の総合的かつ計画的な維持管理については、老朽化を迎える公共施設等の増加と並行しながら、施設等の持続的な保持のための事業実施を基本とすることとし、計画期間は１０年間（２０２５年度から２０３４年度）とします。

## ２　全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

### （１）全庁的な公共施設の管理取組体制

公共施設等の管理については、現状、消防本部ならびに各消防署で管理され、必ずしも情報が一元的に管理されてこなかったことから、総合的かつ計画的に管理する部署を消防本部と定め、事務局は全庁的な調整業務を担う部署とします。

### （２）情報管理・共有方策

戦略的に計画を推し進めるためには、施設の情報を適切な形で蓄積し、それらのデータを有効活用することが必要です。具体的には、施設の部材情報や劣化状況等の情報をもとにした点検・診断や、工事履歴等を踏まえた維持・修繕など、情報の有効活用を図るとともに、これらの情報に各管理担当者が容易にアクセスできる環境を整え、日常的な管理の場面から情報を活用していくことが重要です。

## ３　現状や課題に関する基本認識

### （１）公共施設等の改修・更新等への対応

高度経済成長等の社会的経済的状況に対応するために建設してきた膨大な公共施設等が、今後、老朽化の度合いを深めていくことに伴い、安全性の問題、機能劣化の問題等もまた深刻化せざるを得ません。今後も、行政サービスを適正なレベルで提供し続けていくためには、これら施設の維持管理していくことが予測され、計画的に対処していくことが必要であります。

健全な財政状況を維持するためには、改修・更新等にかかる費用を平準化させるとともに、投資費用を抑制することが必要であり、中長期的な視点による、戦略的な公共施設等の再編成・管理に取り組む必要があります。

### （２）人口減少への対応

当組合にかかる各町の総人口は減少を続けています。人口全体の減少の本格化が避けられないのみならず、年齢構成別に見ると、幼少人口・生産年齢人口の減少、老齢人口の増加による少子高齢化が一層進む厳しい予測になっています。したがって、全体の人口減少だけでなく年齢構成別や地域別に見た場合に予測される人口の変化が、行政サービスに求めるニーズへどのように影響するか着目するとともに、他の社会情勢の変化によるニーズの変化も十分に考慮した上で、最適な施設のあり方を検討していくことが求められます。

### （３）逼迫する財政状況への対応

今後、人口の減少に一般財源の減少が予想されるため、公共施設等の維持管理のための財源確保が出来なくなることが見込まれます。

こうした厳しい財政状況の中で、公共施設等の管理にかかる費用を縮減し、なおかつ機能の維持を図っていくことが大きな課題となります。

## ４　公共施設等の管理に関する基本的な考え方

### （１）基本的な考え方

既存施設については、老朽化の状況や今後の需要見通しを踏まえ、今後とも保持していく必要があると認められた施設については、長寿命化を柱に、建て替え、複合化、広域化のいずれかを選択し、建て替えをする場合には、まず減築や他の施設との複合化を検討します。

建築基準法改正前１９８１年（昭和５６年）以前に建てられたもの、また、木造の耐用年数を４０年、非木造の耐用年数を５０年と設定した場合に、計画策定最終年次である２０３４年時に耐用年数を超える施設を優先的に検討します。また、耐用年数を経過していない施設も、著しい劣化が認められる場合、検討します。

#### ■供給に関する方針

**・機能の複合化等による効率的な施設配置**

老朽化が著しいが、廃止できない施設については、周辺施設の立地状況を踏まえながら、施設の統合や機能の複合化等により、効率的な施設配置及び各町民ニーズの変化への対応を図ります。

**・施設総量の適正化**

構成町住民の要望や、各町における上位・関連計画、政策との整合性、費用対効果を踏まえながら、人口減少や厳しい財政状況を勘案し、必要なサービス水準を確保しつつ施設総量の適正化（縮減）を図ります。

#### ■品質に関する方針

**・予防保全の推進**

日常点検、定期点検を実施し、劣化状況の把握に努めるとともに、点検結果を踏まえた修繕や改修の実施により予防保全に努めます。

**・計画的な長寿命化の推進**

建物の長寿命化を推進する上で必須となる、建物ごとの長期保全計画を作成することとし、計画を作成する際に必要となる基準等を整備します。その上で、今後生じる費用等を算出し、計画的な修繕・改修を実施します。

## ■財務に関する方針

**・長期的費用の縮減と平準化**

改修・更新等の費用の縮減と更新時期の集中化を避けることにより、歳出予算の縮減と平準化を図ります。

**・維持管理費用の適正化**

各施設の維持管理コストについて、データを蓄積し、類似用途の施設間などで比較を行うことで，問題点等を洗い出した後、経費分析を行い、もっとも効率的かつ適正に管理を行っている施設を基準としたコスト削減を図ります。

**・民間活力の導入**

ＰＰＰやＰＦＩなどの手法が活用できる場合は、施設の整備や管理における官民の連携を図り、財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

## （２）実施方針

### ①点検・診断等の実施方針

公共施設等の維持管理に当たっては、まず、利用や事故等に伴う破損等の状況把握のほか、経年劣化・損傷を把握するための日常的な巡視を行います。そして、さらに専門的見地からの状況把握を行うために定期的な点検・診断を実施します。

また、点検・診断等によらず同様の構造・工法等による危険性が指摘され、利用者の安全確保に重大な懸念が生じる場合は、当該公共施設等に限らず、同様の危険性が推測される類似の施設全体において、点検・診断等を実施し、安全確保に努めるものとします。

これらの点検・診断は、公共施設等を安全・安心な状態に必要不可欠な取組であるが、施設の規模や性質等により、十分に取組が実施されていない状況もあり、今後、点検・診断の対象施設の拡大、施設管理者の技術力確保、点検・診断結果を生かした中・長期的な計画の作成による点検手順の構築等に取り組んでいきます。

### ②維持管理・修繕・更新等の実施方針

建築物以外の施設についても、マニュアル等を参考として、施設管理者が定期的に経年劣化状況・性能低下状況等を点検・調査して施設の状態を把握することに努めます。また、必要に応じて劣化診断を実施します。

### （３）安全確保の実施方針

劣化が著しく安全を確保できない公共施設等については、速やかに使用を中止し、安全対策等の措置を講ずるものとします。ただし、老朽化等により供用廃止され、かつ、今後とも利用見込みのない公共施設等については、まずは、立入禁止措置等を実施し、必要に応じて施設の除却等を行うなど、安全確保対策を実施するものとします。

### （４）耐震化の実施方針

国及び北海道では、建築物の耐震化目標を９割としています。

当組合としても、関係機関と協議しながら、国及び北海道との整合性を図り、今後とも計画的に耐震化を進めていきます。

### （５）長寿命化の実施方針

公共施設等のうち、老朽化の状況の評価により今後も長く使い続け、期待される耐用年数までの使用を可能とするための効果的・計画的な保全措置を講じるとともに、ＬＣＣ（ライフサイクルコスト）の縮減も考慮に入れた長寿命化を推進します。

### （６）ユニバーサルデザインに関する方針

今後の施設更新の際及び主要施設については、施設の機能や目的、利用状況などを考慮しながら、ユニバーサルデザインの視点を持って建物を設計し、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が施設を利用しやすい環境を整えていきます。

### （７）脱炭素化の推進方針

公共施設等の長寿命化や、更新、改修の際は、省エネ・再エネ・蓄エネ設備の導入促進など脱炭素化に向けた取組を推進していきます。

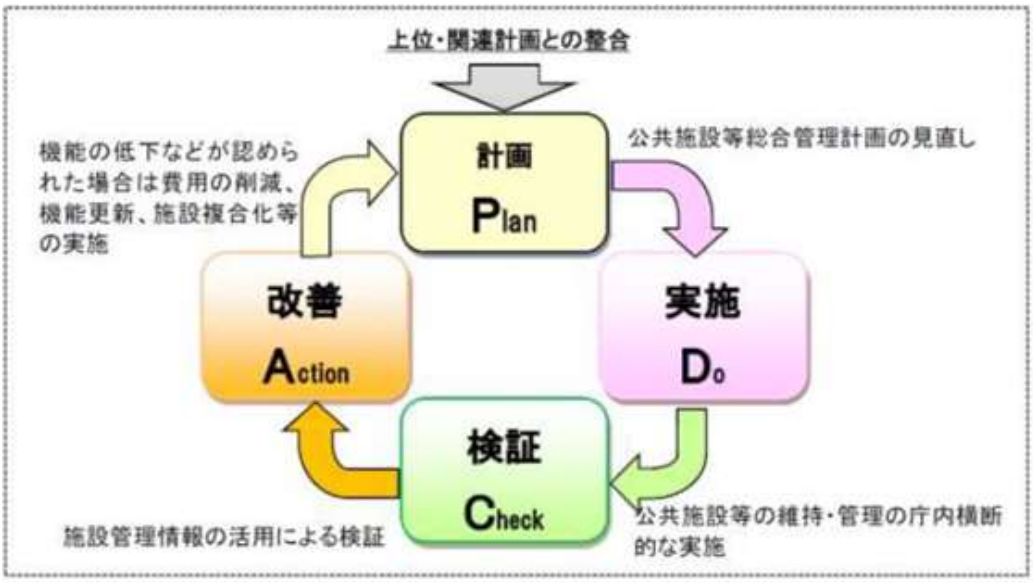
## （８）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

職員一人ひとりが、公共施設等の管理の意義や必要性を理解する必要があるため、全職員にこの計画の内容を周知させるなど、意識の共有化を図ります。これは職員ひとりが常に経営的視点を持って、全体の最適化を目指す戦略的取組が必要であることを示し、そのために、各施設を管理する職員に対して技術的な講義等を行うと共に、計画に関する講義も取り入れ、職員の能力と意識向上に努めるなど必要な研修を行います。

また、公共施設を管理する上で、町民利用施設で導入している指定管理者制度や、可能な場合はＰＰＰやＰＦＩを活用し、事業の効率化や町民サービスの充実を図るための体制構築を目指します。

## ５　フォロー体制に関する実施方針

この計画の内容については、個別計画をはじめ、社会経済情勢の変化等を踏まえ、ＰＤＣＡサイクル評価により、必要に応じ見直しを行います。



# 第３章　所属ごとの管理に関する基本方針

## １　各支署の方針

今後、消防力強化のため、次のとおり各署の消防施設の整備を計画するものとしています。

| | ２０２５年度 | 事業費（千円） | ２０２６年度 | 事業費（千円） | ２０２７年度 | 事業費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防本部 | 消防指令業務共同化事業 | 1,029,945 | | | | |
| | 業務連絡車購入事業 | 3,194 | | | | |
| 安平支署 | 小型動力ポンプ更新事業 | 2,202 | 高規格救急車更新事業（安平支署） | 38,514 | 空気呼吸器更新事業 | 3,645 |
| | 空気ボンベ購入事業（安平支署） | 2,276 | 空気ボンベ購入事業 | 2,276 | 消防用ホース更新事業（65mm×40本・40mm×20本） | 3,278 |
| | ポータブルガスモニター更新事業 | 627 | ザイル資機材更新事業（安平支署） | 542 | ボートトレーラー購入事業 | 880 |
| | 消防庁舎セキュリティ事業 | 1,905 | 携帯型モニタリング機能付除細動器更新事業（追分出張所） | 7,084 | 自動心臓マッサージ器更新事業 | 3,533 |
| | 追分出張所改修事業 | 6,248 | | | 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金積立事業 | 12,500 |
| | 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金積立事業 | 16,000 | | | 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金積立事業 | 3,000 |
| 厚真支署 | 泡原液搬送車更新事業 | 74,233 | 高規格救急自動車更新事業 | 46,431 | 分遣所広報車購入事業 | 13,162 |
| | 気象観測装置更新事業 | 5,849 | 消防用ホース更新事業（50mm×20本） | 1,122 | 空気ボンベ購入事業 | 1,414 |
| | 災害現場用署活道型携帯無線購入事業 | 4,887 | 空気ボンベ購入事業 | 1,414 | | |
| | 空気ボンベ購入事業 | 1,414 | | | | |
| 鵡川支署 | 消防用ホース更新事業（65mm×20本、50mm×10本） | 1,650 | 消防用ホース更新事業（65mm×15本、50mm×10本、40mm×5本） | 1,675 | 消防用ホース更新事業（65mm×20本、50mm×10本） | 1,925 |
| | 防火水槽更新事業 | 30,250 | 消防ポンプ自動車更新事業（第1分団ポンプ1） | 35,397 | 感染症患者搬送装置更新事業 | 2,035 |
| | 災害現場用署活道型携帯無線購入事業 | 2,500 | 救助用ボート更新事業 | 1,524 | 無人航空機購入事業 | 7,940 |
| | 消火栓更新事業 | 1,052 | 鵡川消防団第3分団詰所塗装修繕事業 | 2,805 | 水槽付きポンプ自動車更新事業（タンク2） | 66,626 |
| | 鵡川消防団第1分団詰所塗装修繕事業 | 4,960 | 消火栓更新事業 | 665 | 消火栓更新事業 | 665 |
| | 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金積立事業 | 5,799 | | | | |
| 穂別支署 | 水槽付ポンプ自動車購入事業 | 70,023 | 穂別支署庁舎外壁改修工事 | 22,484 | | |
| | 空気呼吸器更新事業 | 2,715 | 高度救急シミュレーション人形購入事業 | 2,675 | | |
| | 非常用発電機自動始動装置取付事業 | 1,870 | 消防用ホース更新事業（65mm×10本、50mm×5本） | 894 | | |
| | 消防用ホース更新事業（65mm×10本、50mm×5本） | 894 | 消火栓更新事業 | 1,252 | | |
| | 消火栓更新事業 | 1,228 | 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金積立事業 | 5,799 | | |
| | 災害現場用署活道型携帯無線機購入事業 | 3,908 | | | | |
| | 穂別支署庁舎車庫暖房改修工事 | 3,696 | | | | |
| | 穂別支署庁舎扉改修工事 | 2,042 | | | | |
| 事業費合計（千円） | | 1,281,367 | | 172,553 | | 120,603 |

※上記事業計画は、消防施設整備計画書に記載してある事業を記載しています。

## （参考）用語説明

### １　有形固定資産減価償却率

有形・無形固定資産のうち、耐用年数の決まっているものは減価償却が必要になります。有形固定資産の減価償却の進展の割合を示しているのが、有形固定資産減価償却率です。減価償却率を見ることで償却の進展具合だけでなく、資産の古さを確認することもできます。

### ２　耐用年数

耐用年数とは、減価償却資産が利用に耐える年数をいいます。長期にわたり反復使用に耐える経済的に価値があるものの使用又は所有の価値の減価を、各年度に費用配分していく場合の計算の基礎となります。

### ３　ＰＰＰ（パブリック・プライベート・パートナーシップ）

公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームをＰＰＰと呼びます。ＰＦＩは、ＰＰＰの代表的な手法の一つです。

### ４　ＰＦＩ（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービス向上を図る公共事業の手法をいいます。

### ５　ＬＣＣ（ライフサイクルコスト）

製品や構造物などの費用を、調達・製造～使用～廃棄の段階を総合的に考えたもので、訳語として生涯費用ともよばれ、英語の頭文字からＬＣＣと略します。

製品や構造物などの企画、設計に始まり、竣工、運用を経て、修繕、耐用年数の経過により解体処分するまでを建物の生涯と定義して、その全期間に要する費用を意味し、建物以外には土木構造物（橋梁、舗装、トンネル）等にも適用されています。

### ６　ＰＤＣＡサイクル

「Ｐｌａｎ（計画）→Ｄｏ（実行）→Ｃｈｅｃｋ（評価）→Ａｃｔｉｏｎ（改善）」の４段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善する手法をいいます。